

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成20年度採択）

中間評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-4	レーザー波干渉を利用した亀裂性岩塊の遠隔からの安全な安定性調査法の確立	岐阜大学 教授 八嶋 厚	C

<研究の概要>

亀裂性岩盤斜面の安定度評価法として、遠隔から非接触で安全に調査できるレーザー波の干渉を利用する方法を提案するとともに、模型実験等を通して、提案手法の実務への適用性を確立する。

<中間評価結果>

従来法に比して、安定性判定の原理や精度、データ処理等に課題があり、当初予定した遠隔からの安全な安定性調査法の確立は困難な状況であると判断されることから、これまでの成果の取りまとめのみに注力するよう、研究計画を修正する必要がある。

<修正内容>

平成22年度は2年間の研究成果を整理の上、取りまとめていただきたい。なお、当初予定した遠隔からの安全な安定性調査法の確立は困難な状況と判断したため、計測マニュアルおよび安定性評価マニュアル作成の必要はないものと考えられる。

<今後の研究計画・方法への指摘事項>

研究成果の取りまとめにあたっては、これまでに取得した測定データ等を中心に整理していただきたい。